

Ⅳ 首都圏掲示板



夷隅地区において「パンパスグラス」の査定会が 開催されました！！

7月15日、夷隅農業事務所改良普及課の主催により、パンパスグラスの査定会が開催され、関係者を含む約20人の参加がありました。

数年前から、JA いすみ、JA 全農ちば、株式会社大田花き、夷隅農業事務所が連携し、夷隅地区においてパンパスグラスの産地化を進めています。JA いすみのパンパスグラスは、モフモフ、フェザーなど5種類の穂の形状があり、穂を出して乾燥させ出荷している点が他産地に比べて評価されています。

また、昨年までは各生産者宅で乾燥させていましたが、今年は共同乾燥の仕組みを整え、品質向上にも取り組んでいます。

参加した生産者からは、「自分はまだ株を養生中で出荷したことがないので、他の方の圃場や調製作業を勉強させてもらい、良い機会となった」など、前向きな声が聞かれました。

パンパスグラスは9月の「お月見」、10月の「ハロウィーン」など、秋を彩るインテリアとして用いられます。またドライ素材であるため手入れが簡単で、長く楽しむことができます。今年は、ぜひパンパスグラスをご家庭でも飾ってみてください。



1 8月初旬から大田市場仲卸通りで他産地（静岡県）の生のパンパスグラスを発見。2 生産者圃場にて現地研修会を実施。穂を出して、乾燥させて製品となる。3 ナフサ不足の影響により出荷形態も研究中（ポリ袋で代用できないか）。4 一緒に参加いただいた株式会社大田花きの担当の方からは「いすみのパンパスはモフモフ、フェザー等様々な種類があり、乾燥したものを出荷いただける点が他産地と差別化が図れている。ハロウィンまでの出荷を期待している」といった声をいただいた。



ご提供いただいている青果物及び花き産地情報について

首都圏マーケティングセンターでは、青果物及び花きの産地情報の提供を、全農業事務所をお願いしています。いただいた情報は、他県やＪＡ全農、経済連、卸売会社との情報交換会議の基礎資料として活用するほか、農林水産省や花きの仲卸・小売店等の流通業界に情報提供しています。

生育情報や産地の様子、取組等の積極的な情報発信に向けて、引き続き毎月の情報提供をお願いいたします。

～メールマガジン配信のご案内～

ホームページ情報の更新内容などをお伝えする電子メール（メールマガジン）を配信しています。ご希望の方は下記メールにてお申し込みください。

宛先：nousin007@mz.pref.chiba.lg.jp

※タイトル欄に「メールマガジン希望」、本文に所属（勤務先）と担当者名を記入してください。